

スクール21越谷弥十郎教室 中学3年生のみなさんへ

Let's enjoy studying!

And your dream comes true!!

夏期講習もそろそろ終わります。自習・補習まで含め毎日8時間以上、よくがんばりました！

この夏は充実していましたか？

さて、いよいよ2学期が始まります。夏のとても暑いさなか、夏期講習や家庭学習を通して培った君たちの力をさまざまなテストの結果に活かすときです。気持ちは充実していますか？

埼玉県の高校入試、実は「2学期から始まります！」

☆2学期に行われる主なテスト

①北辰テスト…いわずと知れた埼玉で最も有名な公開テスト。

これは公立においては県全体での自分の位置を知るのに最適なテスト。だから、公立高校の受験校を決める際には一番の資料となります。

そして、何よりも大きな意味を持つのは、「私立高校の個別相談会において合否を左右する一番の参考資料とされる」ことです。ですから、9月～12月の北辰テストでは、自分の希望する高校の合格を確実にするために、結果を出さなければなりません。

②定期テスト…内申点はほぼこれで決まります。

埼玉県の公立入試では、内申点が合否に大きく影響します。いくら実力があっても（＝北辰や月例の判定でAであっても）内申が低ければその高校に行けない、ってことはよくあります。

しかも、2学期の中間・期末は直接内申に影響する、いわば中学3年間のなかでも一番大切な定期テスト、になります。

③月例テスト…埼玉県の公立入試の模擬テスト、これで入試で何点くらいとれるのかわかります。

スクール21で行う月例テストは、記述問題が多く、しかも知識だけではなく考えさせる問題がほとんど。しかも10月からの月例テストは完璧に公立高校の入試傾向に合わせて出題します。

つまり、2月28日の公立入試においてあなたが何点取れるのかの大きな目安となります。

④埼葛テスト…学校の進路指導の根拠となるテスト

この埼玉東部地区で同時に行われるこのテストが、中学校の進路指導において一番の参考資料となります。つまり、あなたが行きたい高校を受験できるかどうか、はこのテストの結果にかかっているわけです。

2学期に行われる主なテストは以上、しかも全てが「入試に直結する、あるいは大きく影響する」

非常に大切なテストです。今までのテストとは違いますよ！しかも・・・

北辰テスト・・・9月から12月まで毎月4回（公立受験者は1月も受験してね）

定期テスト・・・2学期中に合計2回

月例テスト・・・9月から12月まで毎月4回

埼葛テスト・・・9月、11月の2回

つまり、この3ヶ月ちょっとの期間に合計12回「入試直結」のテストを受けなければならないのです。単純に平均すると、9日に1回は何らかのテストを受けている、ってことになります。

そこで、2学期のポイントをいくつかお話しします。

「自分には何が必要か」それぞれ考えて行動するようにしましょう！

①あらゆるテストを「入試本番のつもりで」真剣に受験すること

いままで皆さんのテストの受け方を見ていると、時間ぎりぎりまで粘って粘って粘り抜いて1点でも多く得点するぞ、という意識を持って臨んでいる人は残念ながら少ないかな？でした。問題を見た瞬間少しも頭を働かせずにすぐあきらめたり、一通り解き終わったら、つかれた～って感じで机の上に突っ伏したり・・・

しかし、2学期以降はそれではいけません。ちょっとした油断や気の緩みがこれからの君の人生を左右するという覚悟で一つひとつのテストに臨んでください。そしてテストの受け方も身につけること。まずは問題全体を見渡す→易しそうな時間のかからない問題から先に解く→最後に必ず見直しをする

空欄は絶対に残さない、これは大原則です。

②全てのテストにおいて「間違った問題」は必ず3日以内に復習する

点数を上げるとは、一度間違った問題は二度と間違えない、という実に単純なこと。2学期のテストは受験校を決定する重要なテストである、と同時に、「今の君の弱点を見つける大きな教材」でもあります。復習するときに気をつけることは

単純なミスなのか？ 全然わからなかったのか？ 単純に覚えていなかったのか？

を見極めることから始めましょう。そして、全然わからなかった問題はそのやり方、考え方を理解しましょう。その際、越谷弥十郎教室の先生たちをがんがん利用してください。単純に覚えていなかったことは、必ずノートに書いて書いて書いて徹底的に覚えましょう。また、ミス…これは入試本番では本当に命取りになります。仮に各教科1問ずつミスをしたら、1問4点として合計20点…合否に大きく影響することはもうおわかりですね。なぜ、ミスをしたのか、を真剣に考えて次に活かしましょう。「間違った問題の復習」はなにもテストだけではありません。日ごろの勉強で解く問題すべてにおいて復習をしておきましょう。

③中3の2学期の学習内容も理解しておくこと～学校や塾での集中力が大切～

中3の2学期は、新しい、しかも入試頻出の単元を学習します。たとえば、数学では「三平方の定理」や「円」、英語では「関係代名詞」など。ですから、2学期は北辰や月例、埼玉葛などに備えて今までの復習ばかりしていてよい、というわけではないのです。夏休みに学習した1学期までの総復習と実力の定着を確認しなければならないのはもちろんです。そのうえで、2学期、新たなことを習うときは学校でも塾でも集中力をもって、できるだけその場で理解するように心がけましょう。当然、越谷弥十郎教室をがんがん利用してください。

④体力&精神力もつけておきましょう

入試に必要なのは、一番は当然「学力」です。が、「体力」（少なくとも公立入試日の拘束時間7時間に耐えられる力）、「精神力」（これから自分の成績と真剣に向き合うほどいろいろな困難にぶつかります。しかし、それを乗り越える力があるかどうか、はとても大切です。また、入試直前のプレッシャーにも耐えられる力も必要です。）も絶対に必要です。特に入試は1年間で一番寒い時期に実施されます。日ごろから適度な運動、食事などに心がけましょう。しかし、今までの私の経験上、「気合い」の入っている人は必ず良い結果を残しています。つまり、「1点でも多く取るぞ!」とか「絶対に〇〇高校に合格するぞ!」という気持ちを強く持ち、その目標に向かってしっかりと行動していた人は試験前に体調も万全だったし、目の輝きも強かったです。それだけ自己管理ができていた、ということです。みなさんも部活の試合など、思い起こしてください。最初から負けるつもりで試合に臨んでいましたか？テストも、そして入試もまったく同じです。勝ちましょう!!

⑤絶対に一つ一つのテストに一喜一憂しない

2学期のテストは結果を出すことが重要です。がしかし、この時期はテストの結果を気にしすぎても時間を無駄にしまいます。良くても悪くても喜びすぎたり、落ち込みすぎたりしないようにしましょう。それが「精神力の鍛錬」にもなります。そして、なによりも前述のように「復習」して間違える問題をなくしていきましょう。君たちがその結果に喜んだり、落ち込んだりしてよいテストはただ一つ…それは「第一志望高校の入試」だけです。

⑥スクール21 越谷弥十郎教室をがんがんだん利用してください。

質問、自習など学習面ではもちろん、中3のみなさんにとっては初めての高校入試、これからいろいろな困難にぶつかるかもしれません。悩みや疑問も出てくると思います。そんなときもどんどん越谷弥十郎教室を利用してください。埼玉県で一番の高校入試情報力をもったスクール21です。どんな細かいことでも結構ですので、本当に有効に利用してください。